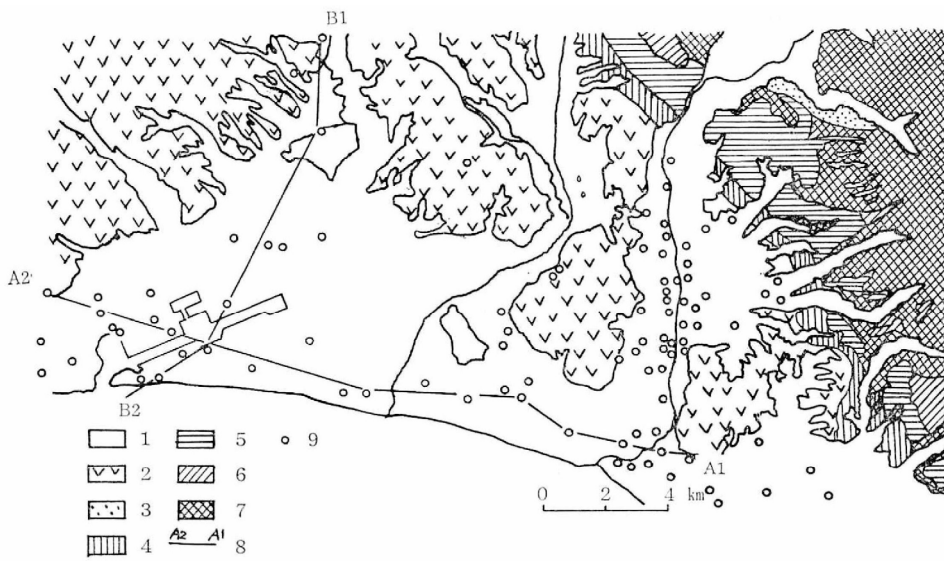


地形・地質

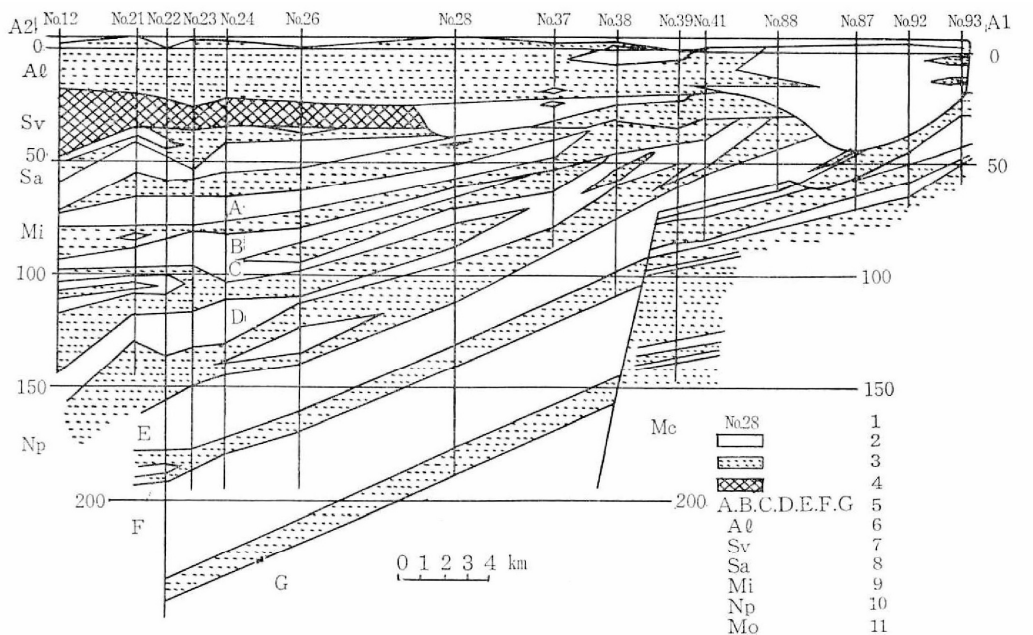
勇払平野はかつて浅海であった石狩一勇払低地帯の南部を占め、低湿で泥炭地が多く、ウトナイ湖、遠浅湖、弁天沼などの海跡湖がみられます。平野の南は海に開いていますが、背後は支笏、恵庭、樽前の火山噴出物からなる火山碎屑岩台地に囲まれています。

地下水

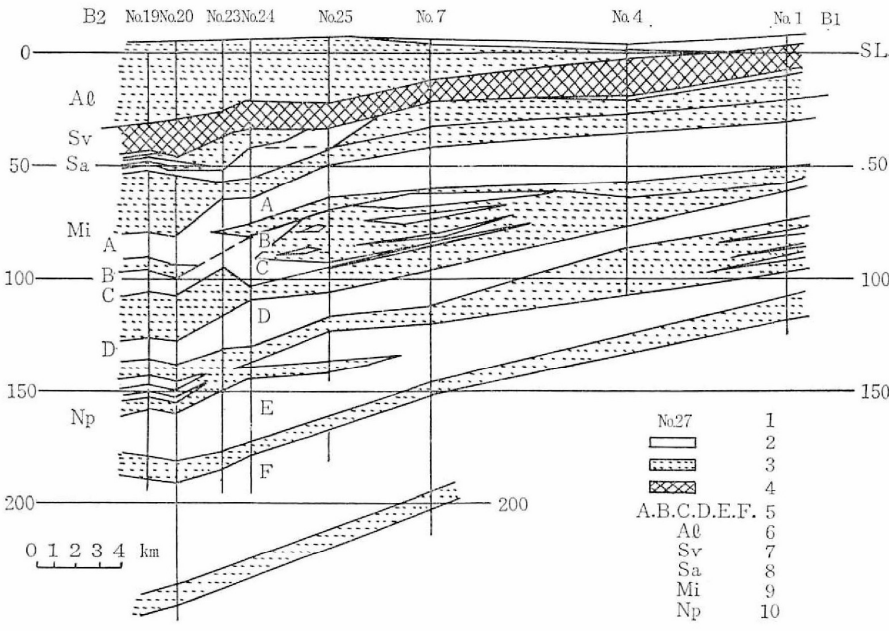
勇払平野の帯水層は、崩別層の砂礫層・ニタツポロ層・美里層・下安平層・支笏火山噴出物・沖積層と考えられています。



勇払平野地質図と深井戸位置図



1 文献73のボーリング番号 2シルト,粘土 3 砂礫 4 支笏火山噴出物 5 苫小牧市街付近で深度80m以下のシルト層を上から順次名付けた層名
6 沖積層 7 支笏火山噴出物 8 下安平層 9 美里層 10ニタツボロ層 11 蒔別層



1 文献73のボーリング番号 2シルト,粘土 3 砂礫 4 支笏火山噴出物 5 苫小牧市街付近で深度80m以下のシルト層を上から順次名付けた層名
6 沖積層 7 支笏火山噴出物 8 下安平層 9 美里層 10ニタツボロ層

勇払平野の地質断面図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）
「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記のWeb ページで閲覧できます。
<http://www.iagh.jp/ip/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）